

令和 5 年度佐倉市、酒々井町清掃組合
地球温暖化防止対策実行計画の進捗状況

1 地球温暖化防止対策実行計画について

当組合では、令和 3 年 3 月に地球温暖化防止対策実行計画の改定を行い温室効果ガスの排出量削減に向けたさまざまな取組をすすめております。

2 計画の目標

計画では、基準年度を令和元年度とし、計画期間は、令和 2 年度から令和 12 年度までの 11 年間、目標年度は、令和 12 年度とし、温室効果ガス排出量を 15%程度削減することを目指します。

温室効果ガス	令和元年度 (基準年度)	令和 5 年度	基準年度比 増減率	平均 (R2~R5)	令和 12 年度 (目標年度)
年間排出量 (t-CO ₂)	16,466	18,262.1	+11%	14,554.6	13,925
1人当たり排出量 (kg-CO ₂ /年)	84	96	+14%	76	77

3 温室効果ガス排出量の概要

令和 5 年度の年間排出量は、18,262.1t-CO₂ となり基準である令和元年度実績と比較して 11%増加、1人当たりの排出量は、96kg-CO₂/年となり 14%増加した結果となりました。

排出量を項目別に見ますと、ガソリン等の燃料消費に伴う排出量は、1.0t 減少、電気に係る排出量は 1,638.8t 増加、熱供給に係る排出量は 23.6t 増加、プラスチックの焼却に係る排出量は、540.5t 増加しております。

また、メタンに由来する排出量については 2.2t 増加、一酸化二窒素は、408.2 t 減少した結果となりました。

4 まとめ

令和 5 年度の温室効果ガス年間排出量は、ガソリン等の燃料消費及び一酸化二窒素に係る排出量が減少したものの、電気及び熱供給、プラスチック焼却、メタンに係る排出量が増加したことにより、基準年度と比較し増加する結果となりました。

当組合においては、可燃ごみ中に含まれるプラスチックごみの焼却が温室効果ガス発生 of 主な要因となっていることから、令和 5 年度以降においても可燃ごみの分別を強化し再資源化の促進を行い、温室効果ガス削減への取り組みを推進してまいります。

温室効果ガス排出量

項目			CO ₂ 換算排出量(t)											平均	
			R1 基準年度	R2 策定年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11		R12 目標年度
二酸化炭素	燃料	ガソリン (L)	2.3	1.5	1.3	1.5	1.7								1.5
		軽油 (L)	30.8	33.9	36.5	34.4	29.9								33.7
		A重油 (L)	99.3	90.0	93.4	79.3	99.7								90.6
		LPG (m ³)	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4								0.4
		小計	132.7	125.7	131.6	115.6	131.7								126.2
	電気	購入電力量	79.1	86.8	43.3	38.0	55.6								55.9
		売電量	-3,362.0	-2,826.3	-1,513.8	-1,598.1	-1,699.7								-1,909.5
		小計	-3,282.9	-2,739.5	-1,470.5	-1,560.1	-1,644.1								-1,853.6
	熱供給	蒸気(kg)	-449.5	-609.3	-569.8	-555.1	-452.1								-546.6
		温水(kg)	-54.5	-20.9	-30.3	-36.7	-28.3								-29.1
		小計	-504.0	-630.2	-600.1	-591.8	-480.4								-575.6
		プラスチックの焼却	19,234.9	11,201.9	15,301.5	18,099.2	19,775.4								16,094.5
	計			15,580.7	7,957.9	13,362.5	16,062.9	17,782.6							13,791.5
メタン	埋立処分地からのメタンの発生		0	0	0	0	0							0	
	焼却によるメタン発生		1.2	1.2	1.2	1.2	3.4							1.8	
	湯沸器等		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							0.0	
	公用車の走行によるメタン発生	ガソリン車	普通・小型乗用車	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		軽油車	軽貨物車	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			小型貨物車	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
計			1.2	1.2	1.2	1.2	3.4							1.75	
一酸化二窒素	焼却によるN ₂ Oの発生		884.3	875.2	854.6	838.4	475.7							761.0	
	湯沸器等		0.0	0.3	0.4	0.4	0.4							0.4	
	公用車の走行によるN ₂ Oの発生	ガソリン車	普通・小型乗用車	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		軽油車	軽貨物車	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			小型貨物車	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
小計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
計			884.3	875.5	855.0	838.8	476.1							761.4	
HFC	公用車からのHFCの漏出		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
CO ₂ 換算排出量合計			16,466.2	8,834.6	14,218.7	16,902.9	18,262.1							14,554.6	
R1に対する排出量比率 (%)			100	54	86	103	111							88.5	
プラスチックの焼却に伴うCO ₂ の比率 (%)			117	127	108	107	108							113	
処理対象人口 (人)			195,422	193,744	192,020	191,200	190,036							191,750	
1人当たりCO ₂ 排出量 (kg/年)			84	46	74	88	96							76	
R1に対する1人当たり排出量比率 (%)			100	55	88	105	114							91	

※処理対象人口は年度末人口で、外国人を含む。